

令和4年度 施政方針

富里市の光り輝く 未来の景色を、つくる。

令和4年2月18日、令和4年第1回富里市議会定例会で五十嵐博文市長から施政方針が発表されました。その中から、富里市の主な事業や今後の取り組みをお伝えします。



富里市長 五十嵐 博文



子どものための教育・保育の充実

認定こども園、幼稚園（新制度）、保育所及び小規模保育等事業所への給付を行うとともに、新規に開園または認可を受ける施設への支援を行い、待機児童の解消を図ります。

福祉の景色

地域包括支援センターの運営

委託型地域包括支援センターを3か所から4か所に増設し、地域包括ケアシステムの充実を図るとともに、介護予防や介護が必要な高齢者へ適切な支援、見守りの実施などに結び付けます。

障害者の暮らしづくり

障害のある人やその家族が地域で安心して暮らせるよう、関連サービスの提供体制の確保などを定めた障害福祉計画と障害児福祉計画に基づいて、支援を実施します。



にぎわい拠点づくり

本市の都市計画マスターplanに掲げる将来像の実現に向けて、主要な拠点である東関東自動車道富里IC周辺において、都市計画道路などの都市基盤施設を整備し、市の玄関口に相応しい良好な市街地形成を図るために、土地区画整理事業を推進します。

都市基盤の景色

成田空港アクセス強化

酒々井ICから成田国際空港方面への渋滞緩和対策として、市道01-010号線の交差点において、右折レンジを設置し、円滑な交通誘導を図ります。

地域に合った公共交通体系づくり

安全で安心な市民生活の移動手段を確保した「住みよいまち 富里」の実現に向けて、子どもから高齢者まですべての市民が利用しやすい地域交通、「新デマンド交通」として公共交通体系の拡充を図ります。



安心・安全

国土強靭化の推進

大規模災害が発生した際に機能不全に陥らない強靭なまちづくりを進めることで、災害への事前の準備や対策の取組が着実に実行できるよう、「富里市国土強靭化地域計画」を推進します。

の景色

消防力の安定的な維持

消防力を安定的に維持していくため、車両更新計画に基づき、化学消防ポンプ自動車を更新し、操作性や効率性・火災防御力に優れた、災害対応特殊化学ポンプ車を導入します。

通学路の安全対策

児童・生徒の安全を確保するため、通学路の路側帯を緑色に着色するグリーンベルトや道路面の通学路標示、看板などを整備し、運転者への注意を促すことで、通学路の安全対策を図ります。



産業の景色

農業振興と経営の安定化に向けた取組

本市の基幹産業である農業の継続的な発展のために、農業振興と経営の安定化に向けた取組を行うとともに、担い手の支援を行います。

企業の誘致

市街化区域の用途の見直しによる土地利用の高度化や地区計画ガイドラインに即した、市街化調整区域での土地利用の誘導など、企業誘致専門員による企業誘致を推進するとともに、企業立地奨励金制度の活用による産業の振興と雇用機会の拡大を図ります。

観光・交流づくり

観光・交流拠点施設「末廣農場」では、本市の農・自然・歴史・文化の魅力を発信するとともに、まちの良さを知っていただく着地型観光の拠点として、展開していきます。



自然・生活環境の景色

森林の再生と保全

「富里市森林再生プラン」に基づき、森林の有する多面的機能が発揮されるよう森林再生を促進し、森林の環境保全を図ります。また、森林再生に当たっては木質バイオマスの活用を図り、地球温暖化防止などの環境保全を推進します。

谷津の再生と保全

谷津の地域環境の景観や生物多様性などの自然環境の保全と活用では、既に取り組む地域団体の支援とあわせ、子ども達をはじめ多くの人々へ触れ合える機会の創出などに向け取り組みます。

分別収集・資源化の推進

持続可能な循環型社会の形成に向け、ごみの減量化のため、紙類・布類のごみ収集場所での収集を開始し、市民の利便性の向上と、可燃ごみの削減や資源化を進めます。

